

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月2日
研究・研修課題名	透析技術認定士資格更新のための研修補助
研究・研修組織名(所属)	透析技術認定士資格更新のための研修補助(MEセンター)
研究・研修責任者名(所属)	梅田 宏幸(MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	梅田 宏幸(MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	梅田 宏幸(MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	透析技術認定士
演題名・認証交付元等	公益財団法人医療機器センター
取得日・認定期間等	2019.8.13
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

透析技術認定士とは、公益財団法人医療機器センターが主催する認定講習を修了し、認定試験の合格基準を満たすことで取得でき、受験資格の審査基準として実務経験が必須となるこの資格は、人工透析に関連する業務において専門的な知識を有していることを証明するためのものである。本資格は取得後、5年毎の資格更新が義務づけられており、今回の目的は、資格更新に必要な講習会を受講することにより資格を更新することである。

② 方法

公益財団法人医療機器センターが実施する2019年度透析技術認定士更新のための講習会(e-ラーニング)を受講する。

日時：2019年7月12日(金)~2019年8月13日(火) 会場：e-ラーニング

③ 成果

当院では高齢の患者が多くを占めており、合併症や認知症の患者も数多く治療をしている。そのため、臨床工学技士といっても患者と臨床的な関わりを深く要求されていることも多くあり、医師、看護師はもちろんのこと、病棟の看護師や理学療法士・薬剤師といった多職種とも協力し合い、より良い治療を提供できるよう尽力している。また、患者監視装置(12台)、逆浸透水处理装置は臨床工学技士によって管理され、定期点検・調整および消耗部品の交換などをメーカーの要求する内容に準拠して行なっている。透析技術認定士は、血液透析のスペシャリストとして、透析療法そのものへの理解を深め、感染管理や院内感染防止策まで幅広い知識を身につけ、透析患者の水管理や体重管理などに関して適切な指導が行え、さらに血液浄化理論や各種透析療法、透析機器システム管理といった技術を求められており、今後も本資格を有することで、自身の血液透析業務技術のさらなるレベルアップを図り、医師・看護師・多職種と連携してチーム医療の一員として血液浄化業務を円滑に実施していきたいと考えている。

今回、e-ラーニングを受講することで、改めて過去の血液浄化業務の知識の振り返りや、新しい知識・技術を得ることができたので、基礎力のレベルアップにつなげたり、今後の業務に活かしていきたいと考える。